

平成22年度学習内容定着度調査分析（宇都宮市立清原北小学校6年）

【国語】★指導の工夫と改善

| 領域    | 本年度の状況                                                                      | 今後の指導の重点                                                                                        |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 音声言語  | 話の内容を文脈に沿って正しく聞き取る力は、概ね身についている。                                             | 日常的に「話す、聞く」活動を取り入れ、話の要点の聞き取り方や内容を聞き取りやすい話し方について、継続して指導する。                                       |
| 説明的文章 | 「文脈に即した内容の理解」や「文章全体の内容の理解」は高い正答率であったが、「筆者の意見の根拠」や「段落と段落の関係」を考える問題の正答率は低かった。 | 「〇字程度で答える」という形式の問題では、はじめからあきらめてしまう子が見られるので、授業の中でこの形での問いに慣れさせる必要がある。                             |
| 文学的文章 | 登場人物の様子を読み取ることや語句の補充はよくできたが、登場人物の心情を読み取る問題では正答率が低かった。                       | 登場人物の気持ちを読み取るうえでかぎとなる語句をとらえる指導を続けながら、難解な語句や慣用語なども小まめに取り上げ、言葉に対する感覚を鋭くさせたい。                      |
| 漢字    | 「読み」は大変高い正答率で市の平均を大きく上回った。「書き」も市の平均は上回ったものの、5年の漢字「責任」「判断」が共に7割台の正答率であった。    | 新出漢字を学習する場合には、書き順や読み方だけでなく、漢字の成り立ちや意味、部首についても指導し、習得を図る。日常の表現指導（ノート、作文、日記、手紙）においても漢字を使う指導の徹底を図る。 |
| 言語事項  | 同訓異字や敬語についてはよく理解されていたが、漢字辞典の引き方を問われた問題では正答率がやや低かった。                         | 辞書は折に触れて活用し、辞書を活用する学習を日常化させたい。                                                                  |
| 作文    | 他校に依頼する手紙は、後付けの書き方ができない子が3割近く見られた。                                          | 具体的な場面に即して、手紙を書く経験を積み重ねさせていきたい。「後付け」の書き方は、繰り返し指導していきたい。                                         |

【算数】★指導の工夫と改善

| 領域   | 本年度の状況                                                                         | 今後の指導の重点                                                      |
|------|--------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 数と計算 | 分数の計算は高い正答率であったが、「1mの重さが4/5kgの鉄の棒2/3mの重さ」を求める文章題では、式の立て方を誤った子が4割近くいた。          | 問題文に分数や小数が入ると、児童は答を予想しにくい。数値を整数に置き換えて考える習慣をつけさせたい。            |
| 量と測定 | 体積や速さの問題については高い正答率であったが、人口密度の求め方では誤りが目立った。                                     | 人口密度は「人口÷面積」であるが、逆にしてしまう子が多数いたので、単位量あたりの大きさについては、再度丁寧に復習する。   |
| 図形   | 角柱の名前を選ぶ問題は100%の正答率であったが、「円柱」と書く問題では2割の子が答えられなかった。                             | 円柱の図が、やや平たい図であったので、これを「円柱」と認識できなかった子がいた。立体の定義に戻って答を考えさせたい。    |
| 数量関係 | 「1か月に平均5.3リットルの牛乳を飲むとすると1年間では何リットル飲むか」という問題で、式の立て方の誤りが目立った。<br>他の問題は大変よくできていた。 | 文章問題の意味がよくできない子がいるので、何を求めるかに線を引くなど、具体的な作業を伴って題意を理解させる手立てを講じる。 |

